

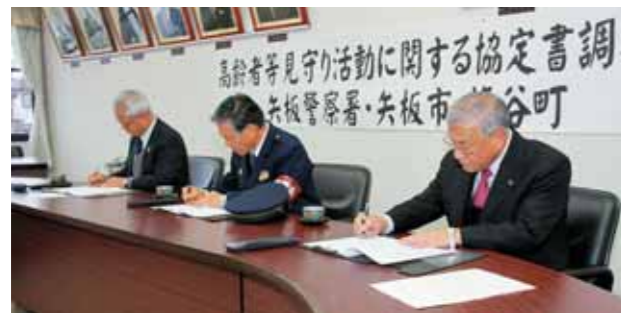
ご近所から始まる福祉

12月18日(水)、文化会館小ホールで、第8回福祉のつどいが開催されました。今年は、ご近所パワーで助け合い越こし～住民流福祉のススメ～をテーマに住民流福祉総合研究所所長の木原孝久さんが講演しました。ご近所の支え合いマップの作成手法やこれからの地域福祉のあり方が話され、参加者からは参考にしたという声がありました。



地域で高齢者の見守りを

12月20日(金)、市役所で矢板警察署・塩谷町・矢板市による「高齢者等見守り活動に関する協定」が締結されました。この協定により、高齢者に危険が生じるおそれや認められず、安否が不明な状態が起きた場合に協力しあいながら対応することとなります。大笹矢板警察署長は「地域レベルで行政と警察との連携を確立し、情報共有を強化したい」と話していました。



東日本大会出場

11月30日(土)、日光市で開催された全国小学校管楽器合奏フェスティバル栃木大会において、最優秀校に選ばれた矢板小学校吹奏楽部の皆さんが、2月11日(火)に渋谷公会堂で行われる東日本大会に出場します。皆さんは、いつもどおり「感動してもらえる音楽・楽しんでもらえる音楽を」をモットーに演奏を頑張りたいと話していました。



語りべさんが読み聞かせ

12月18日(水)、安沢小学校で「やいた語りべの会」の皆さんが朝の読み聞かせを行いました。通常は、PTAのボランティアが行っていますが、子どもたちに矢板の歴史や伝説を伝え、郷土愛を深めようと語り部のみなさんをお願いしたそうです。本の読み聞かせとはまた違った内容に、子どもたちも真剣に聞き入っていました。



かしわっ子とのふれあい

12月16日(月)、かしわ幼稚園で年長組の皆さんと遠藤市長との交流会が行われました。日ごろから練習し、市のイベントなどでも披露してくれている、よさこいソーランの後、園児たちの案内で園内をスタンプラリーでまわりました。会場には、サンタさんに扮したともなりくんも登場し、笑顔の絶えない会となりました。



クリスマス・キャンドルナイト



12月20日(金)～25日(水)、片岡駅前で片岡地区コミュニティ推進協議会の皆さんによるクリスマス・キャンドルナイトが行われました。駅前ににぎわいを創出しようという行われているこの取り組み。イルミネーションと暖かいロウソクの光がもたらす光のコントラストに、多くの方が足を止め見入っていました。

祝 成人おめでとうございます

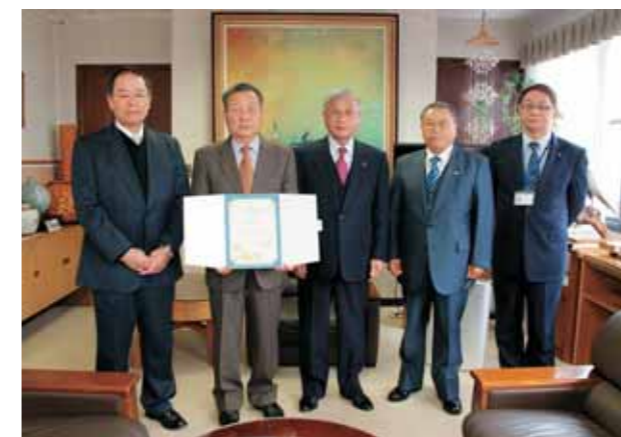
1月12日(日)、文化会館において、平成26年成人式が行われました。今年は、402人の方が新成人を迎えました。式典は実行委員会の皆さんを中心に進められ、「誓いのことば」や「市民憲章唱和」などが行われました。式典の後は、記念事業として中学時代の写真のスライドショーと恩師からのビデオレターが上映され、会場内は温かな笑いに包まれました。

今年の成人式については、実行委員会の皆さんからのお話を中心に、「市民力かわら版」2月号でも取り上げています。



全老連活動賞受賞

12月27日(金)、全国老人クラブ連合会活動賞を受賞した「木幡東交友会」の皆さんが市長を表敬訪問しました。この表彰は、会員が多く参加する活発なグループ活動や健康教室の開催などが評価され、健康づくり部門を受賞しました。長谷川会長は「今後も地域の仲間と楽しく健康になれるよう活動していきたい」と力強く話してくれました。



南産業団地にメガソーラー

12月26日(木)、矢板南産業団地において「ソフトバンク矢板ソーラーパーク」の第2基の運行が始まりました。昨年8月に運行を開始した第1基と合わせた発電量は、4.6メガワットとなり、県内最大級の大きさとなります。今回稼働した発電所の年間発電量は、第1基が約304万kWh、第2基が約164万kWhとなり、一般的な家庭の年間電力量に置き換えると約1300世帯分に相当します。

